

4 年下


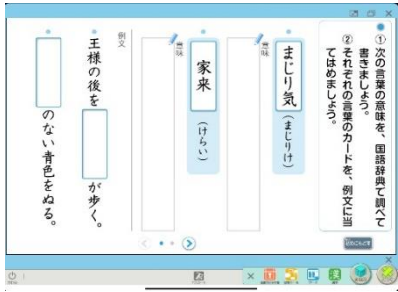
まちがえやすい漢字

愛川町立中津第二小学校

単元の特徴（ねらい）とデジタル教科書の活用について

本単元では、既習の漢字について、文中の言葉の意味を考えさせる学習を行う。漢字に苦手意識をもつ児童が増える中、特に間違えやすい漢字を取り上げ、意味の再確認をさせ、自身の漢字学習を振り返らせる。そのためにデジタル教科書のワークを用いて漢字の学習に取り組ませる。そして、自分が読むときや書くときに間違えやすい漢字で、言葉集めや文をつくる。

指導計画例（全 2 時間）

| 学習活動 指導事項/留意点 | ◇指導上の留意点 ◆評価基準（評価方法） | デジタル教科書の活用例 |
|--|--|--|
| <p>★①</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元のめあてを確認する。 同音異義語・同訓異字について確かめる。 教科書 P117・118 の 1 区で取り上げられた言葉について国語辞典で意味を調べ、課題に取り組む。 (PDF をダウンロードすると、プリント可能) | <ul style="list-style-type: none"> ◇国語辞典の引き方が定着していない児童には、例題を示し一緒に引く。 ◆同音異義語・同訓異字を文の中で使い分け、漢字や語句の意味の違いに気づいている。 | <p>新出漢字の読み方や使い方を知る。</p>  |
| <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> P118 の 2 区の言葉の意味を国語辞典で調べ、これらを使って文を作る。 デジタル教科書の「ワーク」やってみように取り組む。 (PDF をダウンロードすると、プリント可能) 学習を振り返り、まとめる。 | <ul style="list-style-type: none"> ◇国語辞典で意味を調べるだけでなく、視覚的に意味を理解できるよう画像を準備しておく。 ◆漢字にはたくさんの読み方があることに気づき、漢字を適切に読んだり書いたりしている。 | <p>「ワーク」やってみように取り組む。</p>  |

★15時の指導案

【本時のめあて】

漢字の語句や意味の違いについて理解し、同音異義語・同訓異字を文の中で使い分ける。

【評価】

同音異義語・同訓異字を文の中で使い分け、漢字や語句の意味の違いに気づいている。

| 学習活動 | ◇指導上の留意点 ◆評価 | デジタル教科書の活用例 (数字は学習活動の番号) |
|---|--|--|
| <p>①新出漢字の学習</p> <p>②「ボールはまるい」という文の「まるい」の漢字を書く。</p> <p>③答えを国語辞典で確認する。</p> <p>④めあての確認をする。 「読み方が同じ漢字を使い分けよう」</p> | <p>◇教室にあるボールを見せることで、生活に結び付ける。</p> <p>◇なぜその漢字を書いたのか、ペアにその漢字の意味を説明する。</p> <p>◇国語辞典の引き方が定着していない児童と一緒に引く。</p> <p>◇「まるい」の具体物を用意し、視覚的に理解できるようにする。</p> <p>◇新しく漢字を学習するのではなく、漢字がもつ意味を学ぶことを伝える。</p> | <p>・「漢字フラッシュカード」を用いて、新出漢字の読み方を確かめる。(①)</p>  |
| <p>⑤同音異義語・同訓異字について確認する。</p> <p>⑥P117・P118の1 ☒を音読する。</p> <p>⑦P117の「はやく」の問題に取り組む。</p> <p>⑧P118にある他の問題に取り組む。</p> | <p>◇導入で取り扱った「丸い」と「円い」で説明を行う。言葉のもつ意味の範囲を理解させる。 →5年生での教材「言葉の意味が分かること」の学習につながる</p> <p>◇読み方を確認した後、音声と同じスピードで音読させる。</p> <p>◇漢字がもつ意味を考えさせながら、音読させる。</p> <p>◇カードの移動が終わったら、左横の空いているスペースにその意味を国語辞典で調べて書かせる。</p> <p>◆同音異義語・同訓異字を文の中で使い分け、漢字や語句の意味の違いに気づいている。</p> | <p>・「きく」を用いて、読み方を確認する。(⑥)</p>  <p>・「ワーク」を用いて、正しい意味になるように漢字カードを移動させる。(⑧)</p>  |
| <p>⑨学習を振り返り、次時への見通しをもつ。</p> | <p>◇デジタル教科書の「ワーク」を使用することで、再度意味の確認をさせる。</p> | <p>・「ワーク」を用いて、正しい意味になるように漢字カードを移動させる。(⑨)</p>  |